

なかつがわ日本語ひろば 開催レポート

Vol.6 ごみの出し方



概要

令和8年度 前期 第3回教室

日 時: 令和8年7月4日(土) 13:30~15:00

場 所: 中津川市ひと・まちテラス 活動室 101

参加人数: 学習者 14 人、日本語サポーター 9 人



テーマ/講師

ごみの出し方 (講師: 中津川市環境課職員)



開催状況

日本で生活するうえで欠かせない「ごみの出し方」を学び、地域で安心して暮らせるようになってもらうことを目的に、中津川市環境課と連携し実践的な教室を開催しました。

○この日は、実際のごみ出しを想定し、教室内に「資源ごみ」や「有害ごみ」「硬質ごみ」などのコンテナを設置しました。参加者は、自宅からペットボトル、ビン、缶などのほか、捨て方が分からないごみを持参し、まずは自分たちが正しいと思う方法で分別しました。

○その後、環境課職員が、参加者の分別したごみについて答え合わせと解説を行いました。マニキュアや壊れた傘、電源コード、缶詰のふたなど、誤って分別したごみについても、正しい捨て方を具体的に学びました。環境センターで作成している多言語版リーフレットなども参考にしながら、分別方法や収集日などについて理解を深めました。

○また、多くの人が「燃えるごみ」として分別していた新聞やティッシュペーパーの箱(雑がみ)などは、資源として出すことで、ごみの減量やリサイクルにもつながることについて学びました。

○参加した学習者からは、「有害ごみや硬質ごみなど、新しい言葉をたくさん知りました」などの感想がありました。

